大牟田市某町

前畑一男

九月

御禮

永らくの間當工場に於いて御世話様に相成りました所、為め又何故に職工に対して首切りを行ひ、其中に入会員連中も同じく首切り、余りに恐ろしい情ない命令に三井に會社に職工が少くなる為め多くの負債に苦しむ人々に首切りを職工

はかりは余り無情な事は人の方が一番連の為めである。玉水君はいかに人の為めとしてやるかの事のようなくば事務所に久しけやき掛ふ成暗計をしてやるより其積りで居て給へ

連中

玉水君はげ茶瓶君はいろいろ僕連の事を思つてくれる人のか

君は一ヶ月に何百円取つて居るかは知らぬ共職工連の身れも少しは考つて見てくれ一日幾らかの金で妻子を養育して行く身であるそ其れに何そや首切るとは甚だ以てけしからん人

君も早く宿替へ方り共まる方が良いと思ふが